

核開発に反対する会

2010.04 ニュース No. 32

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-2-13-502号室

Tel. 03-3261-1128(午前中)

郵便振替 口座名：核開発に反対する会 口座番号：00160-3-615391

Aニュース購読費(月刊ニュース12号分) 4000円

B維持会員(月刊ニュース12号分+資料等) 10000円

HP <http://kakukaihatsu-hantai.jp>

Eメール mail@kakukaihatsu-hantai.jp

なぜ、「もんじゅ」運転を強行するのか

核開発に反対する会 樋田 敦

福井県は、この4月中にもんじゅ運転再開との情報を垂れ流している。しかし、その情報は確実ではない。民主党の地域振興に乗りたい福井県の希望的情報ではないかと思われる。というのは、もんじゅ運転を担当する原子力機構には勢いが感ぜられず、またも口実を設けて運転延期ではないかと思われるからである。

周辺部から起きる事故の危険

なぜ、原子力機構(旧動燃)に勢いがいかというと、もんじゅは、年間200億円も投じてナトリウムを加熱し、この循環で生命装置を働かせ、その寝たきり状態を14年間も維持してきた。装置の劣化も問題だが、それよりも関係者の退職・配転などで、この特殊原子炉は正常に運転できるかどうかの方が心配である。

もんじゅは、当初予定した予算(国と電力の資金)では建設できなかった。自由に使える電力の資金は原子炉の建設に早々と使い果たしてしまった。そこで、周辺部の建設では、この作業をいくらでしてください、という発注方式をとることになった。そのため、事故を起こした温度計には動燃は一切関与していなかった。その後の故障もすべて動燃のまったく知らない周辺部で起こっている。したがって、運転再開しても、すぐに周辺部の事故になって止まるであろう。

核武装のためのプルトニウム

それなのに、なぜ、民主党政権は、もんじゅの運転を強行しようとしているのか。それは、もんじゅが日本で唯一の軍用炉だからである。兵器級プルトを生産していた東海原発は廃炉になった。常陽は兵器級プルトを生産するブランケットを外している。もんじゅだけがこれを生産できる原子炉だからである。

日本が、田母神の言うようにアメリカから核兵器を買って核武装するという方針を取るとしても、日本が独自に核兵器を生産できて、これを管理する能力がなければならない。この管理能力がなく、テロに盗まれるかも知れない国にアメリカは核兵器を売る訳がない。

そこで、少なくとも 100 発程度の核兵器を自力で作る、これを管理する能力を世界に示さなければならない。そのためには、自力で兵器級プルトを 200 キロほど生産しなければならない。すでに日本の所有している量は 36 キロである。これを追加するには、もんじゅしかないのである。

しかし、この方法では国民の同意を得る事はできない。そこで利用されるのが、プルトを増殖する夢の原子炉（高速増殖炉）というウリなのだ。

話題になっているのは「倍增時間」である。プルトを倍に増やすのに 90 年かかるという。だから新しいもんじゅを作るのは 90 年後だという。だが、それは違う。日本は多数の原発から大量のプルトを生産しているので、あといくつももんじゅを作ることができる。

高速炉では増殖できない

高速増殖炉は、そもそも増殖できない原子炉である。それは炉心の再処理ができない原子炉だからである。高速増殖炉の炉心は、通常原発の軽水炉に比べて大量の白金元素が発生している。これは硝酸には溶けないから再処理すると大量のヘドロが発生する。このヘドロの中にプルトが閉じ込められて完全回収ができないのである。

六ヶ所再処理工場が運転できないのも、原発の使用済燃料の中の白金元素が輸送パイプを詰まらせたからで、高速増殖炉ではなおさらである。

もんじゅの例でいうと、もんじゅには炉心におよそ 1400 キログラムのプルトを投入する。これを 1 年間運転すると、炉心のプルトは多少減っておよそ 1392 キロになる。しかし、ブランケットで新しく 62 キロのプルトが生産される。したがって、54 キロのプルトが増殖されることになる。

しかし、炉心の再処理で、4%のプルトが回収できない（回収率 96%）と、未回収の量は 56 キロである。それでは増殖にならないのである。おそらく回収率は 80%程度と考えられるので、これではプルトの減少である（下表参照）。それなのに、「高速増殖炉」などと名乗るとは、ハッターリである。

炉心再処理回収率	プルトニウム量			年間増殖率
	炉心回収量	ブランケット生成量	合計	
100%	1392kg	62kg	1454kg	1.0386
96%	1336kg		1398kg	0.9986
80%	1114kg		1176kg	0.8400

※年間増殖率 = (合計) / 1400kg とした。年間増殖率 < 1.0 ならば『減少』である。

「嘘つきは泥棒の始まり」という。実は、ブランケットで生産される 62 キロのプルトが

濃縮度 98%という最高級の核兵器原料であることを、この増殖という言葉で隠蔽することができる。

マスコミの中樞も、脱原発指導者の一部も、この事実を語ろうとはしない。彼らはこの事実を知らない訳ではない。しかし、彼らは、内心では、日本の核武装を望んでいる。中国が核武装しているのに、日本が非核では、戦争になって負ける。本心ではなんとかしたいと思い、この事実を話たくないのである。

しかし、その結果として、インドに続く核武装国日本。それは世界史でどのような意味を持つことになるのだろうか。